



NIHON UNIVERSITY
COLLEGE OF LAW
KOYUKAI
2018

- 02-03 ごあいさつ
- 04-05 小田司法学部長 インタビュー
- 06 白方千晴法学部事務局長 インタビュー
校友NEWS 長門貴仁さん
- 07 [第2回 東京五輪で輝け!]
競泳 持田早智選手
- 08-09 第5回 ホームカミングデー
- 10-11 在学中に資格を 歌手・さくらまやさん
- 12 [3.11を忘れない]
福島民報 伊東一浩さん
- 14-15 山形県支部長 インタビュー
- 16 総会・懇親会 お知らせ&報告
- 17 支部校友会/年間活動記録
- 18 マスコミ内定者紹介/法律討論会
- 19 サークルNOW/ゼミ探訪
- 24 箱根駅伝 2年ぶりに出場



第95回記念大会へ 2年ぶりに出場決定 シード権獲得なるか



2017年の第93回箱根駅伝で8区・茅ヶ崎市を力走する小坂太我選手（現在は政治経済学科3年）

「関東インカレ成績枠」から出場
来年1月2、3日に行われる第95回東京箱根間往復大学駅伝競走に、本学が「関東インカレ成績枠」で2年ぶり88回目の出場が決定しました。

第95回記念大会となる来年の箱根駅伝には、シード権を持つ10校と予選会から11校、関東学連選抜チームが出場するほか、「関東インカレ成績枠」として、毎年行われる陸上の関東学生対校選手権・男子1部において、2014年からの5大会の総合得点が多い大学に出場権が与えられます。本学は今年5月の大会で7連覇を達成。5大会累計701・5点で、2位の順天堂大に185・5点の大差をつけてトップとなり、10月の予選会を免除され、本戦への出場が決まりました。

全日本はシード権に惜しくも届かず
本学は11月4日に行われた第50回全日本大学駅伝対校選手権（愛知・熱田神宮）三重・伊勢神宮、8区間、106・8km）に2年ぶりに出場しました。上位8校にシード権が与えられる全日本は、今大会から1〜7区の区間距離が変更され、6区までがより短く、7区がより長くなりました。本学は7区でパトリック・マゼンゲ・ワンブイ選手（文理学部4年）が区間賞を獲得したほか、最長区間の8区では、今年の第94回箱根駅伝に関東学連選抜チームから出場した阿部涼選手（政治経済学科3年）が区間8位の力走を見せました。しかし結果は5時間21分8秒で、8位の城西大に39秒届かず、11位でした。

往路2中継所で繰り上げ時間短縮
第95回大会から往路の平塚、小田原両中継所の繰り上げ時間が20分から15分に短縮される箱根駅伝。本学は出場する10人全員が襷をつなぎ、シード権を獲得することができるか。選手たちの箱根路での力走に期待しましょう。

箱 根駅伝の応援は、スポーツ振興特別委員会の下に箱根駅伝応援の会を組織し、昨年までと同様に沿道で母校への声援を行うことを予定しております。

そこで、校友有志の皆様方には、これらの趣旨をご理解賜りまして、一口2,000円のご寄付を下記郵便振替口座にお振込みいただければ幸いです。母校への絶大なのお力添えをいただけますよう宜しくお願い申し上げます。

HP <http://www.nichidai-ekiden.jp/>

口座名 **「日本大学校友会スポーツ振興特別委員会」**

郵便振替口座 **00190-7-585685**

※郵便局の払込用紙をご利用ください。
※通信欄に「卒業年」と「法学部所属」と必ずご記入ください。

第95回箱根駅伝(出場全23チーム)

| シード校 (10校) | | 予選会から選出 (11校) | |
|-----------------------|------------|---------------|------------|
| 青山学院大学 | 11年連続 11回目 | 駒澤大学 | 53年連続 53回目 |
| 東洋大学 | 17年連続 77回目 | 順天堂大学 | 8年連続 60回目 |
| 早稲田大学 | 43年連続 88回目 | 神奈川大学 | 9年連続 50回目 |
| 日本体育大学 | 71年連続 71回目 | 國學院大学 | 3年連続 12回目 |
| 東海大学 | 6年連続 46回目 | 明治大学 | 2年ぶり 60回目 |
| 法政大学 | 4年連続 79回目 | 東京国際大学 | 2年連続 3回目 |
| 城西大学 | 2年連続 15回目 | 大東文化大学 | 7年連続 50回目 |
| 拓殖大学 | 6年連続 38回目 | 中央大学 | 2年連続 92回目 |
| 帝京大学 | 12年連続 20回目 | 国士舘大学 | 3年連続 47回目 |
| 中央学院大学 | 17年連続 20回目 | 山梨学院大学 | 33年連続 33回目 |
| | | 上武大学 | 11年連続 11回目 |
| 関東インカレ成績枠 (1校) | | オープン参加 | |
| 本学 | 2年ぶり 88回目 | 関東学連選抜 | — |



日本大学法学部校友会 会長

廣田 健史
Hirota Kenshi

校友の皆様におかれましては、ご健勝にてお過ごしのことと拝察申し上げます。

日頃より法学部校友会に對しまして、格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、我が国に於いては、この一年間は大変厳しい年であったかと思えます。

全国各地で起きてしまった豪雨による自然災害、過去にない夏の猛暑、何度となく日本列島を襲う大型台風、本当に大変な年でした。繰り返される自然災害を前に人間が無力であるが故に、技術大国日本として災害を少しでも軽減できる対策が望まれるところです。

地方の校友からも厳しい災害報告が届いており、地震国日本は、更なる災害危機管理の対策が必要と強く考えさせられた一年でした。

危機管理は最悪を考え、最善を尽くすと云われます。校友各位におかれましては、災害に対する事前の備えを行い、どうか安心安全な暮らしを心がけてください。

人口減少、少子高齢化の時代にあつて、日本全国の大学は厳しい時代を迎えており、今こそ歴史と実績のある日本一の総合大学としての伝統と誇りを大切に、校友諸兄と共に盛り立てて行きたいと思えます。

来年は130周年の記念すべき年です。学生ファースト、大学ファーストそして校友ファーストの精神で皆様が一丸となって日大力を発揮する年にしたいものです。

法学部校友会は総会に於いてご理解いただいた通り、地方支部との更なる連携を図り、地方校友会との絆を大切にしてまいります。そして新しい出会い・縁が生まれることを期待しています。

近い将来、地方支部との交流を進め、本部を核に支部サミットの開催を考えています。

神田三崎町の神田冠称による町名復活によつて、昨年より同じ町にある経済学部との前向きな連携を進めており、現状は3号館跡地の有効利用により、学生だけでなく、地域の

在住・在勤者の方々にも役立てていただき、地域貢献の活動もいたしております。

学部に於いては、小田新学部長を迎え、筆頭学部として歴史ある司法の日大復活を目指すとのお話をいただき、法学部校友会も学生ファーストの考えを基に学部・学生への応援部隊として校友会活動を盛り上げていきたいと思えます。

最後になりますが、全国校友諸兄には、今後ともご協力とご支援をお願い申し上げます。日本大学並びに法学部校友会の発展と、皆様方のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



日本大学法学部長

小田 司
Oda Tsukasa

法学部校友会の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃より法学部の教育・研究及び学生指導に對しまして、格別のご協力とご支援を賜り、誠にありがとうございます。この場をお借りして、心よりお礼申し上げます。

本年7月より日本大学法学部長に就任いたしました。少子高齢化が進む中、平成30年以降、18歳人口の大幅な減少が予想され、また文部科学省による入学定員超過率及び定員充足率の引下げとその管理の厳格化等により、本学のみならず私立学校をめぐると非常に厳しいものとなっております。このような状況の中、法学部をさらに発展させるためには、全教職員が一丸となつて学部の運営にあたり、法学部を「魅力ある学部」「社会の注目を集める学部」にして、「日法」ブランドを

確立させる必要があると考えています。そのために、司法試験をはじめとする難関試験の合格者の輩出、国際機関・国際的企業等で活躍できる人材の育成、在学生にとつて魅力的かつ卒業後も誇れる校舎の建設等、様々な改革を行ってまいります。

さて、今年度も、法学部校友会のご協力・ご支援をいただき、様々な企画を実施させていただきました。9月29日(土)開催のマスコミ・メディア就活セミナーでは、本学OB・OGの皆様方に多数ご参加いただきました。現在、マスコミ業界等で活躍中のOB・OGの皆様方と直接お話しさせていただく機会を得て、様々なアドバイスをいただきました。このことは、マスコミ業界等を指す学生たちにとつて将来の目標を達成するうえで大変有意義であったと思えます。今後もこのようなセミナーを継続的に実施してまいります。

また、法学部校友会及び日本大学法曹会のご協力・ご支援の下、10月27日(土)に法律討論会を開催することができました。本年度は、刑法の問題について学生たちが熱い議論を交わしました。法学部は今日まで、法律討論会に参加した学生の中から多数の法曹関係者を輩出してあります。今後も「司法の日大」復活を目指し、法学部校友会及び日本大学法曹会との連携を強化して、司法試験等の合格者を増やす体制を整えてまいります。と思います。

さらに、11月17日(土)開催のホームカミングデーでは、キャンパスツアー、厚切りジェイソン氏による講演の後、学生食堂で懇親会を行いました。ご多忙の中、多くの卒業生の皆様にご来校いただき、盛大に実施できましたことに、厚くお礼申し上げます。

法学部では、マスコミ・メディア就活セミナー、法律討論会、ホームカミングデー等の各種企画の他、法学部校友会のご協力・ご支援を得て、学生を対象とした様々な支援事業を行っております。12月15日(土)には、資格試験合格者等を対象とした褒賞授与式が予定されており、また法学部校友会の学生に対する支援事業として、生活困窮者に対する奨学金等の支援も行っています。

来年、日本大学は創立130周年を迎えます。この日本大学の歴史は、そのまま法学部の歴史でもあります。法学部は、この長い歴史と輝かしい伝統を誇りに、「魅力ある学部」「社会の注目を集める学部」を目指して、全教職員が一丸となつて教育・研究、学生指導及び学部運営に精一杯努力してまいります。

最後になりますが、私ども法学部教職員は、これまで以上に全教職員が一丸となつて誠意をもって学生や法学部校友会の皆様のご期待に沿うよう努力してまいりますので、法学部校友会の皆様には、今後ともご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。

PROFILE 1963年青森県生まれ。87年法学部法律学科卒。90年大学院法学研究科博士前期課程修了、96年ヨハネス・グーテンベルク大学にて法学博士号(Dr.jur)取得。97年国際関係学部専任講師、2001年同助教授、02年法学部助教授、06年同教授。

PROFILE 昭和23年東京都生まれ。昭和46年法学部経営法学科卒業。ヒロタグループ株式会社環境整備 代表取締役社長。日本大学理事。日本大学第一中学・高等学校同窓会会長。勝海舟顕彰会会長。

新法学部長

インタビュー

INTERVIEW

今年、法学部長に小田司氏が、法学部事務局長に白方千晴氏が就任されました。司法試験や少子化など、さまざまな課題がある中、法学部の未来像、そして法学部校友会との連携について伺いました。

聞き手

廣田健史
法学部校友会会長
[昭和46年経営法学科卒業]

上村英生
法学部校友会幹事長
[平成6年経営法学科卒業]

遠藤はるか
[法律学科3年]

高見沢恵里
[公共政策学科2年]

水村華子
[公共政策学科2年]



グローバル化に 対応したカリキュラムを

小田司教授

Oda Tsukasa

“司法の日大” 復活で学部をアピール

法学部長ご就任おめでとう
ございます。

まずはこれからの抱負をお
聞かせください。

少子化や文科省の定員管理の厳格化など、私立大学を取り巻く環境は非常に厳しいです。そんな中で「社会の注目を集める学部」を目標に掲げています。そのためにまず、司法の日大の復活を目指し、準備を進めています。法学部の優秀な学生が他大学でなく、本学のロースクールに進

学していただけるよう、ロースクールとの関係を強化していきます。また、司法試験に受かった後、法曹としてのサポートも日本大学法曹会と連携して強めていきたいと考えています。

その他、グローバル化に対応したカリキュラムにも力を入れていきます。法学部の学生は基礎学力が高いので、語学もすぐに習得できる学力を持っています。私自身ドイツに留学してましたので、そ

の経験も活かして、まずは日本大学の中で一番グローバルな学部になりたいと思います。——**その他に法学部のアピールポイントはございますか？**

大学の立地がよいことです。東京の中心で学ぶことは学生にとって大切です。また2020年の東京五輪後に3号館の建て替えを計画していますが、この3号館は学生が卒業してからも「また行きたい」と思えるような、シンボリックな校舎にしたいと思っ

ています。——**法学部校友会との連携はどのようにお考えでしょうか？**

校友会には財政面でも人材面でも非常にお世話になってます。マスコミセミナーや就職相談会等、卒業生と話すする機会は大変重要ですので、今後もご支援いただきたいと思います。

——**付属高等学校との交流の機会はございますか？**

今年7月に就任してから、

全国の付属高校を回っているところなんです。先日は札幌日大に伺って、高校生に授業をしました。100人程の生徒が集まりました。体育館で授業を行いました。現在10校程回りましたが、今後26校ある付属高校全部に伺う予定です。

——**それは高校生にとって将来について考えるよい機会になりますね。**

学部長が授業をするということ、大変気を遣わせてしまうことが多いのですが、ただ校長先生とお話するだけでは意味がありませんので、生徒の前でなるべく授業をするよ

うにしています。難しい話ではなく、法律に興味を持ってもらい、法学部に来てもらえる様に心がけています。——**ご自身はどのような大学生でしたか？**

あまり勉強はしていませんでした。今の学生の方が勉強していると思います。でも、ドイツに留学してからは寝ないで勉強していました。

——**日本とドイツは似ていると言われますが、実際はどうですか？**

似ているところもありますが、実際はそんなに似ていないですね。ドイツの大学でも

教えていましたが、授業中10分に1回は学生から質問がありました。日本だと授業中教授以外は誰も話しません。ドイツから日本に帰ってきて初めて授業したときは、90分間一人で話さなければならなくて苦痛でした。笑。海外では「沈黙は金」ではないんです。黙っていたら評価してもらえないんです。

——**休日は何をして過ごしていますか？**

就任してから休日はないですね。学部長になつてからも授業は減らしていませんし、週末は付属高校を回っていま

す。海外でも授業をすることがリフレッシュになっていましたが、今年は無理そうなので残念ですね。——**法学部校友会へのメッセージをお願いします。**

様々な面でご協力いただき、ありがとうございます。今後も学生のためになる企画を継続してご支援いただければと思います。

——**ありがとうございます。法学部長のご活躍をお祈りしています。**



PROFILE

おだ・つかさ◎1963年青森県生まれ。87年法学部法律学科卒。90年大学院法学研究科博士前期課程修了、96年ヨハネス・グーテンベルク大学にて法学博士号(Dr.jur)取得。97年国際関係学部専任講師、2001年同助教授、02年法学部助教授、06年同教授。



Shirakata Chiharu

白方千晴氏 学生の環境を 第一に考え 法学部を 良くしていきたい



法学部事務局長のご就任おめでとうございます。まずは抱負と現在のご心境をお聞かせください。

法学部は私が初めて入職した学部で、故郷に戻ってきたような想いでおります。社会人として育てていただいた学部なので、少しでも学部が良くなるよう恩返しをしたいと思っております。

今は3号館建て替え計画を進めていますが、学生の教育環境改善のために、少しでも早く着工したいと考えております。

法学部のアピールポイントはどのような点でしょうか？

司法試験はもちろん、最近は公務員試験を目指す学生も増えていきます。合格率を伸ばせるよう講座や研究室を充実させて、バックアップ体制を整え、在学中にスキルアップできる学部にしたいと思っております。

事務局長として心がけていることはどのようなことですか？

判断を早くすることです。問題を先延ばしにせず、結果を出すことをポリシーにしています。

学生ありきの職員ですので、時間のロスがなくし、学生に寄り添うことを心がけています。

法学部校友会との連携はどのようにお考えでしょうか？

私どもが学生を送り出す中で、在学中に校友会と学生のつながりを強固にしたいと思っています。

在学中、学生に法学部校友会の活動に参加してもらいながら、生涯のつながりを築いていって欲しいと思っております。

ありがとうございました。事務局長のご活躍をお祈りしています。

PROFILE しらかた・ちはる◎1957年愛媛県生まれ。1980年生産工学部管理工学科（現マネジメント工学科）卒。法学部に22年勤務、その後国際関係学部、本部、歯学部で勤務後、2017年に法学部へ。2018年9月、同事務局長に就任。

長門貴仁さん(2013年法学部法律学科卒)が Muscle Mania Taiwan 2018 Fitness Model部門で 日本人初優勝！

2018年9月に台湾で開催されたアメリカ最大のFitness Contest Muscle Mania Taiwan Fitness Model部門にて、日本人で初めて優勝することができました。私が出場したModel部門はボディビルと異なり、スーツ、スポーツウェア、ビキニウェアの3着で審査が行われました。私がこの大会に興味を持ったきっかけは、身体一つで世界でどこまで通用するのか挑戦してみたいという好奇心からでした。

基本週6日ジムに通い、1日休息といったスケジュールをこなしております。1日に身体の1～2部位を集中してトレーニングをします。審査において筋肉のバランスは重要な項目となりますので、苦手な部分は重点的に鍛えています。

普段から食事にも気をつけています。身体は今食べているもので作られますので、どんなにトレーニングを頑張ってもファストフードや揚げ物ばかり食べてしまってもいい身体はできません。理想を言えば、睡眠も大切ですが、仕事も多忙なため、今は食事とトレーニングの質にこだわって日々を過ごしています。

優勝が決まった瞬間は、正直実感が湧きませんでした。授賞式や記念撮影を終え、ホテルに帰ってからやっと受賞の喜びを感じました。

私は、母子家庭のため憧れた留学などの選択はなく、受験に失敗し、学費は全て自分で払い奨学金という大きな借金を背負い、当時の彼女には将来性がないとフラれ大学生活が始まりました。その際、援助を受け留学をし、大学をTOPで卒業して国内外大手企業から内定を頂き、業務でも世界最先端のプロジェクトに携わりながら、国際大会で優勝している今の自分を想像することはできませんでした。多くのできない理由がある中で、いかに自分を信じて努力できるのか、これがなりたい自分を叶える秘訣だと感じております。

引き続き、勇気を持ってやりたいことへ貪欲に挑戦していきます。来年6月にアメリカMiamiで開催される世界大会に出場しますので、良い結果報告ができるよう頑張ります。



PROFILE [ながと・たかひと] 2013年法学部法律学科卒業。在学中に交換留学制度にてトロント大学へ留学。株式会社東芝にて原子力事業部、ヘルスケア医療推進部、技術統括部などで勤務後、2017年パーソルホールディングス株式会社へ転職。2018年 Muscle Mania Taiwan 2018 Fitness Model部門優勝。モデル、パーソナルトレーナーとしても活動中。健康やトレーニングに関する相談はinstagramアカウント:taka_fitnessmodelまで

活躍できると思い入学しました。大学生活はいかがでしょうか？

学業と水泳の両立は大変ですが、法学部には他の競技をやっている友だちもたくさんいるので楽しいですね。

普段の練習はスポーツ科学部(三軒茶屋)を拠点にしています。ジムとか流水プールとか施設が充実しています。プールも自由な時間に使用できるので、環境が整っていて満足しています。

アジア大会で銀メダルを獲得した時の気持ちは？

その前のバンパシ水泳で銀メダルを獲得したので、アジア大会も頑張ろうと思って臨みました。大会前はメダルを獲ると思っていなかったのですが、自分でもびっくりしました。

今季からバタフライに転向して、よい結果が続いていますね。

自分の想像より早いスピードで結果が出ています。自由形とバタフライの両立を目指しているのですが、自由形でも少しずつ結果を残していきたいです。

高校2年生の時にリオ五輪に出場していますが、その経験は今のどのような形で活かされていますか？

前回出場した五輪は、緊張でほぼ記憶がないまま大会を終えてしまいました。そういう経験をしたので、今年の夏の大会はそこまで緊張せずリラックスしてレースできたと思います。東京五輪では、前回のリベンジができるようしっかり準備して、自分が思っている結果を出したいです。

これからの目標を教えてください。

日本記録の2分4秒を更新できるよう頑張りたいです。

オフの日は何をしていますか？

大型ショッピングセンターなどで買い物を楽しんでいます。洋服を買うのが好きです。

校友へのメッセージをお願いします。

これから日本大学の名前を背負って頑張っていきたいと思っています。応援よろしくお願致します。

アジア大会2018で銀メダル獲得



アジア大会の銀メダルとともに

持田早智選手

競泳/バタフライ 経営法学科1年

PROFILE [もちだ・さち] 1999年奈良県生まれ。千葉商科大学付属高校出身。ルネサンス幕張所属。165cm。

東京五輪で前回の五輪のリベンジを



2015年 世界水泳カザン 4×200mフリーリレー7位
2016年 リオ五輪 4×200mフリーリレー8位
2018年 ジャパンオープン 200mバタフライ1位
日本選手権 200mバタフライ1位
アジア大会ジャカルタバタフライ銀メダル



【聞き手】
遠藤はるか(法律学科3年)

今年8月に行われたアジア大会2018ジャカルタ(競泳/バタフライ)で銀メダルを獲得し、2020年の東京五輪でも活躍が期待される持田早智選手に法学部校友会事務局がインタビューしました。

日本大学に入学した理由は？

過去にすばらしい選手を多く輩出している名門なので選びました。高校はそんなに強い高校ではなかったのですが、日本大学は強い大学なので、インカレでも

笑顔があふれる/
懇親会

本館地下1階食堂にて開催



毎年恒例の
抽選会を
今年も開催!

次回のホームカミングデーは
2019年11月16日(土)
開催予定です。



小田司法学部長ご挨拶



廣田健史法学部校友会会長ご挨拶

けに、住んでみて嫌だと思っ
ても後戻りができない。わら
の家なら、建てて違うと感じ
たら、別の場所に建て直す余
裕がある。試してみても、ダメ
ならもう1回……を繰り返せ
ば、自分の好みや欲しいもの
に少しずつ近づけるはずで
す」とジェイソン氏。この考
え方で始まって成功した会社
や事業の代表例が「フェイス
ブック」だと解説しました。

そして最後に「やって失敗
したことよりも、やれたけど
やらなかったことの方が何百
倍も後悔する。やりたいこと
が少しでもあるなら行動に移
そう」と力説。質問コーナー
では「日本に関心を持った理
由は?」「ポジティブ思考の
秘訣は?」といった質問が飛
び、約1時間の講演はあっと
いう間に終了しました。

講演会終了後、本館地下1
階の学生食堂に場所を移して
懇親会を開催。現役学生や
様々な年代の卒業生が交流を
深めたり、恩師である先生と
の久しぶりの再会を楽しんだ
りしていました。そして来年
の再会を誓い合い、盛会のう
ちにお開きとなりました。

《参加した校友の声》

◆松田 稯さん (平成10年 法律学科卒業)

大学に来るのは卒業以来かな。1カ月ほど前に白山通りを歩いて遠目で見た時に、変わったなと感じてはいましたが、改めて来ると随分と綺麗になったと思います。ただ、学生時代によく行った居酒屋や食堂がなくなったのは寂しいですね。

◆渡辺 みなみさん (平成25年 新聞学科卒業)

新潟の新聞社に就職したので、大学はもちろん、東京に来るのも卒業以来です。懐かしさを感じつつも、よく授業を受けていた3号館がなくなるなど風景が変わっていて、寂しさも感じますね。先輩や後輩と久しぶりに会って話ができただけはうれしかったです。



第5回

Home Coming Day

ホーム
カミングデー
開催!

スペシャルゲスト

厚切りジェイソン氏



法 学部主催、法学部校
友会共催の「第5回
法学部ホームカミングデー」
が11月17日に開催されまし
た。10号館の1011講堂で
は、IT企業の役員も務める
お笑い芸人の厚切りジェイソ
ン氏の講演会が行われ、自身
の生い立ちをもとに校友に語
りました。

将来何をしたいのかを考え、
それに向けたスキルを身につ
けるための授業に通うのが学
生の習慣になっています」と
言うジェイソン氏。当時全盛
期になっていたというITに
魅力を感じて、IT技術を学
べる同大学に通学。そして、
社会に出て仕事をする上で必
要になったのが、他の人には
ないスキルや経験だそうで
す。

「他の人にできないことを
できるようにする方法は2通
りあると思います。1つ目
は、1つのことを誰よりも深
く理解すること。でも僕はそ
れができなかった。それに代
わる方法として考えたのは、
10人のうちの1人ができるよ
うなことを複数組み合わせる
こと。それらが全部必要と
なった時に、同等の価値が見
いだせるのではないかと思っ
たんです」。



「私も犬が5匹いるんですが、かわいくてかわいくて。元々出不精なんですけど、何もしなくていい日はゴロゴロしながら犬と戯れています。」

——法学部校友にメッセージをお願いします。

いろいろな分野で活躍されている先輩が多いと思いますが、私も法学部の一員として、できるだけ資格をとりたと思っています。「日本大学ってすごいな」と周りから思われるように頑張りたいです。



PROFILE
 【さくらまや】
 1998年北海道生まれ。2008年「大漁まつり」でデビューして以来「演歌少女」としてテレビやバラエティ・イベントに多数出演、幅広い層からの支持を受ける。2015年にはミュージカル「赤毛のアン」にアン親友ダイアナ・パリ―役で出演し、4年連続で同作品に出演している。デビュー10周年となる今年、新曲「かもめ橋から」をリリースした。

法律系の資格を取りたい

歌手・タレント **Maya Sakura**

さくらまやさん

政治経済学科2年

史上最年少歌手としてデビューして10年、歌手としてはもちろん、テレビやミュージカルなど幅広い活躍を続けているさくらまやさん。大学生活のことやお仕事のことなどを法学部校友会事務局がインタビューしました。

【聞き手】法学部校友会事務局



水村華子
 (公共政策学科2年)



高見沢恵里
 (公共政策学科2年)

——大学生活はいかがですか？
 最初は友だちができるかな不安もありましたが、授業に行くと友だちが増えて、かなり充実した大学生活を送っています。最近入りたいゼミも見つけました。

この間知ったんですけど、私の学費が自腹だったんです！（笑）。前から授業はちゃんと受けていたんですが、より一層真剣さが増しました。1回休むと損した感がありますね。試験と稽古が重なってしまっただけで、途中稽古を抜けて試験を受けました。両立は大変ですが、なんとかこなっています。

——日本大学法学部政治経済学科を選んだ理由は？
 進路決定のころ、ちょうど事故にあったんです。それでいろいろと手続きが必要になって、法律が気になり始めました。高校までは理系だったんですが、急に文系に変更した

ので先生も驚いていました。せっかくなら法律だけじゃなく、経済などいろいろ学びたいと思って、政治経済学科を選びました。

——特に好きな講義はありますか？
 最近は経済学にはまっています。いろんな教授の講義を受けています。ミクロ経済とマクロ経済を別の教授に習ってみたりとか。「この教授の考え方は面白いな」という方がたくさんいて興味深いですね。私はたくさん人の前で歌うのは得意なんですけど、話すのが苦手なんです。なので教授を尊敬しています。人にものを教えられる人ってかっこいいですよ。



法学部校友会事務局にて

——大学生としての目標は？
 法律を学んでいる身として、司法書士、行政書士など、なにか法律系の資格を卒業までに取りたいと思っています。今は司法書士の本を黙々と読んでいて、分からないところがあると教授に質問しています。親切に教えてくださる教授がいるので頑張っています。周りの友だちも秘書検定などの資格取得に励んでいるので、

私も負けずに頑張らなくてはと身が引き締まりますね。

——歌手デビューして10年が経ちましたが、振り返ってどのような思いですか？
 この10年で、すべての都道府県を回ったと思います。楽しかった思い出いっぱいなんですけど、10年経ったといわれると全然実感がありません。あつという間でした。10年ですけど、まだまだだなあ

と感じています。

——アーティストとしての今後の目標は？
 今まで演歌をメインでやってきて、演歌が大好きなので十分だと思っています。いろいろな方に「若いうちに他のジャンルもチャレンジした方がいい」とアドバイスを受けてきました。演歌以外の音楽にも挑戦したいし、歌以外のこともやってみたいです。せつ

かく大学にも通っているのですが、大学の勉強を活かせることも見つけていきたいですね。

——お仕事で日本大学のつながりを感じることはありますか？
 「私も日大なんだよ」と言ってくださる方が結構たくさんいらっちゃって、親しみを感じて仕事がいやしくなります。

——オフの日は何をしていますか？
 家に犬が5匹いるんですが、かわいくてかわいくて。元々出不精なんですけど、何もしなくていい日はゴロゴロしながら犬と戯れています。

被災者に寄り添った 記事を書き続ける



福島民報
報道部記者
伊東 一浩
平成12年 新聞学科卒業

東

日本大震災が発生した2011年3月11日は福島県福島市の本社に勤務していた。震災が起きた瞬間の記憶は忘れようもない。経験したことのない激震に見舞われ、周りには揺れが取まってもショックで立ち上がれない人が大勢いた。

だが、さらに大きな衝撃が待っていた。大津波に襲われた沿岸部の取材に向かったその日の夜、体育館に避難していた住民に話を聞くと、「家族が見つからない」という人が何人もいた。この災害の犠牲者はどれくらいいるのか。寒気が走った。翌朝、海岸沿いに赴くと、すべてが流された光景が広がっていた。取材するという立場すら忘れぼろとしかできなかった。追い打ちを掛けるように、東京電力福島第一原発事故が発生した。原発事故による避難者数はピーク時で約16万5千

人にのぼった。避難によって体調を崩して亡くなる方も大勢おり、まさに未曾有の大災害となった。

あれから約7年9カ月が経過した。だが、原発事故で避難地域になった場所の復興は「まだまだこれから」というのが実情だ。福島第一原発が立地する大熊、双葉町はまだ全町避難が続く。避難指示が解除された地域でも、帰還する人が

少ないという問題に直面している。

避難指示解除後も戻れない理由は人それぞれだ。大型スーパーなどの休業が続いているため買い物環境が不便だったり、地元にあった病院が廃業して十分な治療を受けられないなど、帰還をためらわせる要素は数多い。そして、大きな要因が「時間」だ。原発事故後、被災者は避

難先で新たな生活を築く必要があった。新たな住まい、新たな職場、新たな学校……。7年以上の月日は「新しい生活を捨ててまでは故郷に戻れない」という状況を生み出した。戻らない選択を責めることは誰にもできない。

一方、復興に向けた明るい兆候がみられるのも確かだ。私が昨年度末まで勤務していた浪江町を例に取る。同町は原発事

故に伴い全町避難を強いられ、昨年3月末に帰還困難区域を除いて避難指示が解除された。町内には被災者向けの災害公営住宅が完成し、津波で住居を流された町民らが新たな生活をスタートさせている。小・

中学校が町内で再開し、子どもたちの姿が久しぶりに戻った。こうした、原発事故以前の暮らしを取り戻す動きだけでなく、世界最大規模の水素製造拠点の建設が始まるなど、復興に向けた新たな取り組みも進んでいる。

福島第一原発事故は国内で前例のない災害である。だからこそ、記者として何ができるかを自問自答する毎日が続く。間違いなく言えることは、地元紙の使命として、常に被災者の気持ちに寄り添った記事を書き続けていかなければならないということだ。

最後に。震災後、校友の皆様から福島県に対して多大な支援をいただいたことをあらためて感謝したい。私自身、少しでも復興に寄与できるよう、日大OBの誇りを持って報道という職務にあたっていきたい。



▲昨年3月に避難指示が解除された浪江町の中心市街地。再開した店は数少なく、復興は道半ばだ



▲浪江町内で再開した小・中学校。校庭には芝生が張られ、子どもたちがのびのび遊べる環境になっている

Hotel Metropolitan Edmont Tokyo
飯田橋、水道橋駅より徒歩5分

ケータリングにてお料理、サービスのお届けも承ります。

edmont.co.jp

営業担当：近藤 誠

ホテルメトロポリタン エドモント
ご宴会、パーティ、会議など人々が集う、有意義な場をお創りいたします。

豪華なシャンデリアが印象的な宴会場「悠久」や洗練された華やかな雰囲気「万里」など、14の宴会場で、人々が集う有意義な場を心をこめてお創りいたします。

ご宿泊料金も正規料金より特別割引でご案内いたします。

ご予約・お問合せ ホテルメトロポリタン エドモント 宴会予約まで 03-3237-1101 (直通)
〒102-8130 東京都千代田区飯田橋三丁目10番8号 03-3237-1111 (代表)

校友 INFORMATION

司法書士桜門会入会のご案内

- 1 会員資格は日本大学を卒業し、または日本大学の関係者にして、司法書士資格を有する者です。(司法書士桜門会会則第2条)
- 2 会の目的は会員の親睦及び母校の振興に寄与することです。(会則第3条)
- 3 本会はこの目的を達成するために次の事業を行います。(会則第4条)
 - ①懇親会等の開催
 - ②会員名簿の作成、管理
 - ③司法書士を目指す学生、卒業生に対する支援
 - ④その他必要とする事業

ぜひご入会頂き、桜咲く桜門の下交流を深め、これから司法書士開業を目指す後輩、合格を目指す卒業生、在校生への支援とご協力をお願い致します。

司法書士桜門会 会長 石塚伸一(昭和46年 法律学科卒業)

お知らせ頂きたい事項

| | |
|---------------|------------|
| 1. お名前 | 5. メールアドレス |
| 2. 事務所住所、事務所名 | 6. 卒業学科 |
| 3. 電話番号 | 7. 卒業年 |
| 4. FAX番号 | 8. 司法書士合格年 |

お手数ですが以下にご連絡を下さい。

E-mail **yoshida@yoshida-n.com**

FAX **03-3350-6419**
司法書士 吉田なつみ(平成19年 法律学科卒業)

平成29年 司法書士桜門会 懇親会
ホテルメトロポリタンエドモントにて開催

山形県支部長インタビュー



interview 原田儀一郎さん

【インタビュー】
廣田健史 会長 (昭和46年経営法学科卒業)

昨年法学部校友会山形県支部の新支部長に就任した原田儀一郎支部長に、山形県支部の活動状況やご自身のお仕事についてインタビューしました。

現在の山形県支部の活動状況はいかがでしょうか？

今は新体制作りをしている最中です。新三役での打ち合わせを何度か行っています。11月に総会を開催しますので、例年以上に多くの方に参加いただけるよう準備をしています。

現在の山形県支部のメンバーはどのような方が多いですか？

年代が高齢化しつつあります。弁護士や行政書士などをされている方も多いですね。とてもアットホームな雰囲気です。若い会員を増やすのに苦戦していますが、一人ひとり声かけをして広めていきたいと思っています。また、法学部は他学部比べると女性の会員も少ないので策を考えていきたいです。

他学部や日大山形との交流はいかがですか？

山形県全体の校友会総会は7月に開催しましたが、残念ながらいろいろな影響で昨年より参加者が少なかったです。来年は回復できると思っています。

若い会員を増やしていきたい。

PROFILE

【はらだ・ぎいちろう】
昭和28年山形県生まれ。同51年法学部法律学科卒業。卒業後は庄内銀行に入行、現在副頭取。趣味はクラシック音楽鑑賞。

各学部校友会とは、それぞれ

の総会の度にお会いして、非常に親密な関係を築いています。

日大山形の卒業生とは、もつとつながりたいですね。Uターン採用などを利用して、山形に定着していただければと思っています。

います。

法学部校友会の他の支部との交流はいかがでしょう？

今年初めて近隣の福島県支部、宮城県支部にも総会のご案内を送付しました。これからお互い連絡を密にして交流を図りたい

と思いますし、他の支部にも広がっていききたいと思います。

庄内銀行副頭取として活躍ですが、銀行内に日本大学法学部の卒業生は何人くらいいらっしゃいますか？

法学部は約20名、全学部では

100名弱はいると思います。昨今は就職状況が良いこともあり、地元に戻ってこない方が多いのが悩みどころです。特に地方銀行はマイナス金利の影響で逆風が吹いています。例年より応募者は少ない状況です。

100名の日大生は頼もしいですね。ぜひ就職セミナーでもPRしていただければと思います。

学生時代の思い出は？

証券研究会で学んだことが、今の仕事に活かされています。日大OBは山形県内の市町村にたくさんおられますので、非常に心強く感じています。



2018年9月12日 法学部校友会室にて

山形県の経済状況はいかがでしょう？

企業の景気動向は悪くないと思います。東北地方で一番の課題はインバウンドだと思います。震災の影響もあり、やっと震災前に戻った状況です。東京



山形 おすすめスポット

1015段ある石段は、登り始めると大したことありません。是非一度お越しください。

【山寺】

や大阪のように、東北にも東南アジアを中心に世界から観光客を呼び込む策を実践しなければと考えており、「山形県タイ友好協会」の年内設立に向け奔走しています。



法学部校友会熊本県桜法会 幹事長
来海恵子 (昭和52年 政治経済学科卒業)

法学部校友会熊本県桜法会新たな出発

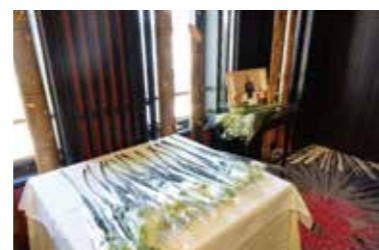
平成23年、法学部校友会熊本県桜法会は和田欣幸前会長の下に発足しました。2年半前に熊本地震がありましたが、負けずに活動を続けていました。今年2月和田前会長がお亡くなりになり、悲しみとともに途方に暮れました。

日大アメフト問題で日本中が揺れる中で、今年の校友会を開催するか否か役員会で話し合われました。私は「こんな時だからこそOBが毅然とした姿を見せることで学生や世間に勇気と日大の存在をアピールできるので開催したい！」と意見を述べました。

言ったからには行動が伴わなければならない、それからが生みの苦しみでした。和田前会長の後任探しに頭を抱えましたが、吉村俊一さんが快く会長を引き受けて下さり感謝しています。吉村新会長は、日本大学法学部卒業生で、熊本で唯一の弁護士です。正に、法学部校友会長に最も相応しい方だと思います。これからは、益々吉村会長を中心に法学部校友会熊本県桜法会が大きく羽ばたきたいと会員一同決意新たに

8月18日に開催された総会前に和田前会長に参加者一同献花し、お礼と法学部校友会の新たな出発の報告をしました。和田前会長、ありがとうございました！

また、日本大学法学部校友会本部から熊本県支部の総会に対してお祝い金と祝電をいただきましてありがとうございました。会員一同、心から感謝しています。吉村会長を中心に、廣田会長に熊本へお越しいただけるよう頑張ります。今後とも、ご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



献花台



吉村会長

福島県支部 第8回総会・懇親会



福島県支部の第8回総会・懇親会は5月26日(土)、郡山市のホテルハマツで開かれました。会員20人に加え、出村克宣工学部長、大越務校友会支部副幹事長が駆け付けました。懇親会では一人一人がスピーチしました。アメリカンフットボール部によるタックル問題の直後だったため、この話題に意見が集中。大学当局の対応のまずさを指摘する声は相次いだ一方、学生らを擁護し励ます意見もありました。
(連絡先) 090-3367-0732 (斎藤事務局長)

山形県支部 第27回総会・懇親会



日本大学法学部校友会山形県支部の平成30年度の総会が11月10日に山形市内の山形国際ホテルで午後5時より開催されました。来賓として、廣田校友会会長、鳥飼校友会副会長、川又法学部次長にご臨席を賜りました。総会に先立ち、校友会会員の大沼幹雄氏より講演をしていただきました。演題は「日本酒よもやま話」でした。引き続き出席者41名で総会と懇親会を滞りなく終了することができました。
(連絡先) 023-643-0810 (事務局・三浦龍夫)

神奈川県桜法会 第26回総会



神奈川県桜法会第26回総会が、平成30年11月16日(金)、横浜山下公園にあるホテルモントレ横浜で開催されました。法学部出身の校友総会で、当日50名程集まりました。今回は、新法学部長の小田司先生にお越しいただき、新学部長としての抱負をお話いただきました。また、廣田健史法学部校友会長よりご祝辞をいただきました。最後に全員で応援歌「花の精鏡」を合唱して閉会しました。
(連絡先) QFF01351@nifty.com (桐ヶ谷会長)

宮城県支部総会

宮城県支部総会が、平成30年11月29日(木)に仙台市のスマイルホテルで開催されました。来賓として、小田司法学部長、柴田幸彦法学部校友会副会長、山形県支部原田儀一郎支部長にお越しいただきました。
(連絡先) 22-273-7018 (中沢幸男支部長)

■大阪支部(連絡先) 06-6631-6038 (中礼思無哉支部長)
■熊本県支部(連絡先) 096-248-8956 (来海恵子幹事長)

ホテルグランドパレス

◇同郷・同窓会プラン

懐かしい思い出話や近況報告で盛り上がるひとときに、ゆっくりと旧交をあたためるのにぴったりなプランです。

1名様 ¥9,500(20名様より)

※室料・お料理・お飲物(フリードリンク4種)
装花・サービス料・消費税込

※ご利用時間:2時間30分

※2019年3月31日(日)まで



- お料理 和・洋・中折衷の立食ブッフスタイル
- お飲物 フリードリンク4種

以下よりお選びください

ビール/ウィスキー/ワイン(赤・白) / 焼酎/日本酒/ソフトドリンク

●ご予約・お問い合わせ:宴会予約課

TEL : (03)3264-1166

(受付時間 9:00 ~ 20:00)

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-1-1

2018年 法学部校友会活動記録

- 1/15 定例常任幹事会
- 2/19 定例常任幹事会
- 1/30 第4回 法学部校友会奨学金授与式
本学ロースクール進学者や、在学中に法学部並びに法学部校友会活動へ積極的に貢献した学生等、合計13名が授与されました。
- 2/10 第11回 法学部就活セミナー
- 3/14 定例常任幹事会
- 3/25 卒業記念祝賀会 (ホテル グランドパレス) 記念品 (名刺入れ)
- 4/1 新入生ガイダンスにて、資格試験合格者褒賞制度の説明 中村顧問が資格試験合格者との対談
- 4/2 法学部開講式にて廣田会長が挨拶
- 4/17 定例常任幹事会
- 5/9 定例常任幹事会
- 5/11 総会・懇親会 (アルカディア市ヶ谷) ※詳細は16頁
- 6/11 定例常任幹事会
- 7/9 定例常任幹事会
- 9/19 定例常任幹事会
- 9/29 第12回 三崎町キャンパス マスコミ・メディア就活セミナー
- 10/19 定例常任幹事会
- 10/27 第41回 法律討論会 ※詳細は18頁
- 11/17 第5回 ホームカミングデー ※詳細は8-9頁
- 11/5 定例常任幹事会
- 11/11 法律相談会 (甲府市)
- 12/15 資格試験合格者褒賞授与式



2019年5月10日(金) 平日

の開催となります。

ご注意の上、奮ってご参加ください。

会場

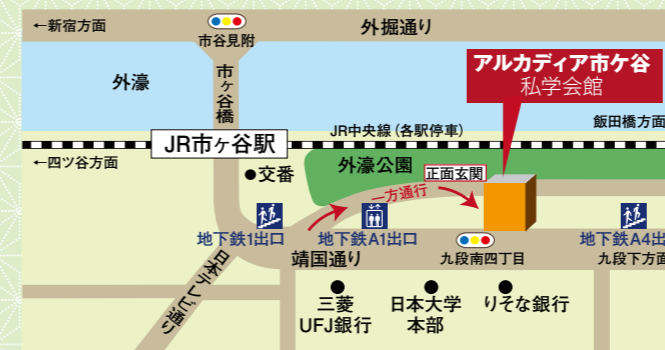
アルカディア市ヶ谷

総会 4F 鳳凰 懇親会 3F 富士

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25

●お問い合わせは……法学部校友会 (☎ 03-3261-9274)

※日程等変更がある場合は、3月末までにハガキにてお知らせいたします。
予定通り5月10日(金)開催の場合にはお送りしませんので、ご了承ください。



交通のご案内

JR市ヶ谷駅下車 徒歩2分
都営地下鉄新宿線 市ヶ谷駅 (A1またはA4) 出口から徒歩2分
東京メトロ有楽町線・南北線 市ヶ谷駅 (1またはA1) 出口から徒歩2分

総会 17:30~18:30

懇親会 18:30~20:00

- 議題
- ① 2018年度 活動行事報告
 - ② 2018年度 決算報告・監査報告
 - ③ 2019年度 活動行事計画(案)
 - ④ 2019年度 予算(案)

会費 8,000円
(但し、2019年3月卒業生及び在校生は3,000円です)

2018年5月11日(金)
アルカディア市ヶ谷で
行われた総会・懇親会

総会



懇親会



廣田健史 法学部校友会長 田中英壽 理事長 大塚吉兵衛 学長 池村正道 前法学部長



▲司会の菅野もえさん ▲議員、市町村長の皆様 ▼記念品の体温計



▲法学部校友会各支部の皆様



▲司法試験に合格した学生たち ▲法学部校友会役員



上/九十九里での夏合宿の練習の様子
下/男女アベック優勝した秋の団体戦表彰後の集合写真

二部とともに練習を重ねて45年 先輩と強い空手道部・強い空手家を目指す

1973年(昭和48年)に創部され今年で45年目。昨年創部50年を迎えた二部空手道部とともに、1~4年生あわせて約40人が所属し活動しています。

毎年6月末と10月末には「全日本二部学生空手道選手権大会」があります(7月は個人戦、10月は団体戦)。私たち空手道部からは一部・二部関係なく出場するので、この2大会を意欲して型と組手の練習をしています。総監督や監督、コーチをはじめ、たくさんのOB・OGにご指導いただきながら練習を重ねました。その結果、今年6月末の個人戦では男子組手で上位4位まで独占。女子の型では準優勝、組手も3位入賞を果たしました。また、10月末の団体戦(組手のみ)は男女とも優勝し、男子は5連



現在、法学部公認団体として活動するサークルを紹介します。

法学部公認団体編

第7回

空手道部

紹介者

代表

千勝 海知さん
(法律学科3年)

覇を達成することができました。

4月に1年生が入ってきますが、今年は経験者と未経験者が半々でした。経験がある新人はやっていった頃のことを思い出しながら、未経験の仲間とともに先輩の指導のもとでスキルアップを目指します。夏休みには夏合宿を実施。今年は千葉県の九十九里で4泊5日の合宿でした。1~4年生全員が参加して1日10時間みっちり練習し、最終日には昇級審査を行っています。昇級審査は年間を通して夏合宿での1回しかないのですが、回数を増やせないか、先輩と相談しているところです。

今後はどちらの大会とも全階級制覇を目指して、先輩方とより強い空手道部をつくってほしいです。

サークルDATA

- 在籍人数
1~4年生約20名
- 活動日
毎週月・水・金曜日。必要に応じて火曜日に自主練を実施。
- 活動場所
経済学部本館7階体育館(自主練は法学部6号館)

ゼミ探訪

「まちづくり」をテーマとしている高橋ゼミ。
1部、2部合わせて約80名の学生が在籍する賑やかなゼミです。

第3回

高橋雅夫
ゼミ



たかはし まさお ●昭和32年千葉県生まれ、県立千葉高等学校卒、早稲田大学政治経済学部政治学科卒業。早稲田大学大学院を経て東亜大学、松本大学、平成17年より日本大学教授。

ゼミDATA

専攻科目: 行政法
創設年: 平成18年
卒業生: 285名 在籍: 78名

現在の在籍学生は、1部4年生35名、3年生34名、2部4年生5名、3年生4名の計78名。1部、2部合わせて各学年30名を超える学生が在籍しており、とても賑やかなのが特徴です。高橋ゼミは、「まちづくり」をテーマとして、お散歩と称するフィールドワークを行っています。お酒好きな先生に連れられ、水道橋界限のお店で意見を交換しています。多くの同期生と交流し意見を交換できるだけでなく、就職活動を終えた4年生から3年生がお話を聞くという時間をつくっていただき、公務員から民間企業まで、様々な職種のお話を聞くことができるというのは、在籍学生の多い高橋ゼミならではのことだと思います。

また今年で13期目となるゼミですが、毎年OB・OG会を開催しており、今年もホームカミングデーに合わせて11月17日に行われました。ここでは先輩方の

交流はもちろんのこと、既に社会経験を積まれた先輩方から後輩へのアドバイスを数多くいただきました。

メインイベントである合宿では、長野県松本市へ行き、松本大学の学生と松本の「まちづくり」のお手伝いをします。普段、他の学部の学生と関わる機会が少ない日大生にとって、とても貴重な経験となっています。

御年61歳となる高橋先生ですが、年齢を感じさせないパワーで学生たちを引っ張ってくれています。

今日も元気にフレフレGOGO!

(遠藤はるか 第13期ゼミ生)



マスコミ
内定者紹介

9月29日、法学部と法学部校友会の共催による「第12回 日本大学法学部三崎町キャンパス マスコミ・メディア就活セミナー」が開催されました。マスコミ業界で活躍する先輩を招き、現役生が直接話を聞ける場として2007年から毎年開催し、今年で12回目を迎えました。このセミナーに参加して難関を突破し、マスコミ内定を勝ち取った4名の学生を紹介します。



日本放送協会 (NHK)

山川信彰 [新聞学科4年] (学生サポーター)

「世の中の森羅万象を追いかけ、情報を広く伝えていく」という記者の仕事に魅力を感じ、大学1年の頃から志していました。セミナーには1年時から参加し、2年からは運営に携わりました。業界の最前線で働く先輩方のお話を伺い、自分の夢が早いうちに定まりました。原点を忘れることなく、常に事実と向き合い、貪欲に取材を行う「現場記者」になりたいと思っています。



日本放送協会 (NHK)

柴田拓正 [新聞学科4年] (学生サポーター)

幼少期からテレビが好きで、学校に行く時間以外はテレビにかじりつく生活をしていたので、自然と「テレビの世界で仕事がしたい」と思うようになりました。1年時に参加したセミナーの質問会で、先輩から「今はとにかく遊びなさい」とアドバイスをいただきました。これを大学生活で実践したことで、面接では話題に困りませんでした。先輩方の教養を胸に、まい進してまいります。



(株)スポーツニッポン新聞社

小田切葉月 [新聞学科4年]

東日本大震災を契機に180度変化した原発報道に疑問を抱き、将棋普及指導員として様々な境遇の人と接する中で「記者になりたい」と強く思うようになりました。セミナーには1、3年時に参加。「記者になるには速く及ばない。もっと頑張ろう」と刺激を受けました。将来はバラスポーツを取材して、「バラスポーツの記事ならスポニチ」と読者に思ってもらえる記事を書き続けることが目標です。



(株)エフエフ東放

山西夏樹 [新聞学科4年] (学生サポーター)

東日本大震災の時にテレビで見た津波の映像から、映像が持つ「伝える力」の大きさを実感。私もその力を生かして未来の不幸を取り除きたいと思い、報道カメラマンを志望しました。セミナーには1年時から学生サポーターとして参加し、先輩や目上の方との接し方からテレビ業界のことまでいろいろ勉強できました。将来は歴史の教科書にも載るような大きな出来事の取材に携わりたいです。



第41回
法律
討論会
Law debate

第41回法律討論会が、10月27日(土)、法学部10号館1011講堂で行われました。今年は刑事裁判の第一線で活躍されてきた、角田正紀先生が作成した刑法の問題について、事前予選を通過した10組が熱い討論を展開しました。

優勝は今井綾香、小林一樹、高橋毅(いずれも法律学科4年)チーム。準優勝が武智舞、小坂修人、古野間夏樹(いずれも法律学科4年)チームでした。また、白杵裕佳子さん、佐々木百華さん(ともに法律学科3年)ら5人に優秀賞が贈られました。さらに質疑応答に対して論評内容が鋭かった参加学生を表彰する「校友会会長賞」には、10名が選ばれました。



留学生向けの
「日本語講座」
がスタートしました。

日本大学では、大学間交流協定に基づく交換留学生を対象とした「日本語・日本研究講座」(JLSP: Japanese Language and Japan Studies Program)及び学部等の交流協定に基づく交換留学生や国費外国人留学生などを対象とした「日本語講座」(JLP: Japanese Language Program)を開設し、多くの外国人留学生が日本語や日本文化を学んでいます。

このたび、留学生と学部学生との交流の促進、大学のグローバル化を促進するため、2018年9月から始まる第2学期日本語講座から、法学部神田三崎町キャンパスで開講することになりました。

日本語講座は、年3回(5月~7月、9月~12月、1月~3月)のスケジュールで開講しており、毎回約30名が受講しております。

▶▶ 平成29年度エントリー数・合格者数&平成30年度エントリー数

日本大学法学部校友会・日本大学法学部 共催

法学部及び大学院法学研究科に在学中の学生を対象にエントリーを受け付けし、平成29年度は、1,439名の登録があり、436名が合格しました。平成30年12月15日(土)に合格者の表彰を行う予定です。

2018年6月1日現在

| 資格名 | 平成29年度 | | 平成30年度 |
|-----------------------|--------|------|--------|
| | エントリー数 | 合格者数 | エントリー数 |
| ①司法試験 | 0 | 0 | 2 |
| ②司法試験予備試験 | 2 | 0 | 10 |
| ③弁理士 | 1 | 1 | 6 |
| ④税理士 | 0 | 0 | 2 |
| ⑤公認会計士 | 8 | 3 | 6 |
| ⑥司法書士 | 1 | 0 | 3 |
| ⑦土地家屋調査士 | 0 | 0 | 0 |
| ⑧社会保険労務士 | 7 | 0 | 9 |
| ⑨行政書士 | 74 | 4 | 66 |
| ⑩宅地建物取引士 | 214 | 20 | 239 |
| ⑪日商簿記検定1級 | 236 | 1 | 208 |
| ⑪日商簿記検定2級 | | 18 | |
| ⑫秘書技能検定1級 | 544 | 0 | 383 |
| ⑫秘書技能検定準1級 | | 36 | |
| ⑫秘書技能検定2級 | | 287 | |
| ⑬ファイナンシャル・プランニング技能士2級 | 51 | 13 | 55 |
| ⑭知的財産管理技能検定2級 | 62 | 4 | 88 |
| ⑭知的財産管理技能検定3級 | | 16 | |
| ⑮法学検定アドバンスト<上級>コース | 4 | 0 | 4 |
| ⑯国家公務員採用試験 | 47 | 10 | 39 |
| ⑰対象地方公務員採用試験 | 58 | 15 | 46 |
| ⑱応用情報技術者 | 4 | 0 | 2 |
| ⑲外国語検定試験(10,000円) | 126 | 8 | 108 |
| 合計 | 1,439 | 436 | 1,276 |

▶▶ 平成30年司法試験合格者

平成30年9月11日、平成30年司法試験の合格発表がありました。

日本大学大学院法務研究科修了の合格者は9名です。おめでとうございます。

| 修了年度 | 既修 | 未修 |
|--------|-------|----|
| 平成26年度 | 佐賀 優季 | |
| | 佐藤 勝紀 | |
| 平成28年度 | 飛世 貴裕 | |
| | 深井 辰也 | |
| 平成29年度 | 高橋 健太 | |
| | 南波 沙織 | |
| | 三浦 寛海 | |
| | 村中 昇 | |
| | 矢口 繁 | |



平成29年度会計収支決算報告書

(自：平成29年4月1日～至：平成30年3月31日)

単位：円

| 科目 | 予算額 | 決算額 | 増減 |
|----------|------------|------------|------------|
| 収入の部 | | | |
| 会費登録料収入 | 0 | 360,000 | 360,000 |
| 交付金収入 | 28,240,000 | 30,342,000 | 2,102,000 |
| 広告料収入 | 300,000 | 380,000 | 80,000 |
| 預金利息収入 | 200 | 211 | 11 |
| 懇親会収入 | 1,000,000 | 1,180,000 | 180,000 |
| その他収入 | 300,000 | 300,000 | 0 |
| 当年度収入合計 | 29,840,200 | 32,562,211 | 2,722,011 |
| 前年度繰越金 | 15,038,481 | 15,038,481 | 0 |
| 収入合計 | 44,878,681 | 47,600,692 | 2,722,011 |
| 支出の部 | | | |
| 通信費 | 250,000 | 193,682 | △56,318 |
| 旅費交通費 | 300,000 | 67,230 | △232,770 |
| 会報発行費 | 3,600,000 | 3,560,800 | △39,200 |
| 総会懇親会費 | 2,700,000 | 2,716,440 | 16,440 |
| ホームページ保守 | 600,000 | 390,240 | △209,760 |
| その他行事費 | 350,000 | 363,769 | 13,769 |
| 慶弔・渉外費 | 1,200,000 | 1,026,200 | △173,800 |
| 事務局諸経費 | 3,700,000 | 3,684,490 | △15,510 |
| 奨学金費用 | 3,000,000 | 2,880,000 | △120,000 |
| 支援支出 | 20,200,000 | 16,077,620 | △4,122,380 |
| 予備費 | 0 | 0 | 0 |
| 本部校友会負担金 | 470,000 | 470,000 | 0 |
| 資産運用支出 | 0 | 0 | 0 |
| 当年度支出合計 | 36,370,000 | 31,430,471 | △4,939,529 |
| 次年度繰越金 | 8,508,681 | 16,170,221 | 7,661,540 |
| 支出合計 | 44,878,681 | 47,600,692 | 2,722,011 |

平成30年度収支予算書(案)

(自：平成30年4月1日～至：平成31年3月31日)

単位：円

| 科目 | 前年度実績 | 予算額 | 増減 |
|----------|------------|------------|-------------|
| 収入の部 | | | |
| 会費登録料収入 | 360,000 | 0 | ▲360,000 |
| 交付金収入 | 30,342,000 | 29,040,000 | ▲1,302,000 |
| 広告料収入 | 380,000 | 380,000 | 0 |
| 預金利息収入 | 211 | 100 | ▲111 |
| 懇親会収入 | 1,180,000 | 1,000,000 | ▲180,000 |
| その他収入 | 300,000 | 0 | ▲300,000 |
| 当年度収入合計 | 32,562,211 | 30,420,100 | ▲2,142,111 |
| 前年度繰越金 | 15,038,481 | 16,170,221 | 1,131,740 |
| 収入合計 | 47,600,692 | 46,590,321 | ▲1,010,371 |
| 支出の部 | | | |
| 通信費 | 193,682 | 230,000 | 36,318 |
| 旅費交通費 | 67,230 | 250,000 | 182,770 |
| 会報発行費 | 3,560,800 | 3,600,000 | 39,200 |
| 総会懇親会費 | 2,716,440 | 3,600,000 | 883,560 |
| ホームページ保守 | 390,240 | 420,000 | 29,760 |
| その他行事費 | 363,769 | 400,000 | 36,231 |
| 慶弔・渉外費 | 1,026,200 | 1,200,000 | 173,800 |
| 事務局諸経費 | 3,684,490 | 3,950,000 | 265,510 |
| 奨学金費用 | 2,880,000 | 5,000,000 | 2,120,000 |
| 支援支出 | 16,077,620 | 17,750,000 | 1,672,380 |
| 予備費 | 0 | 5,000,000 | 5,000,000 |
| 本部校友会負担金 | 470,000 | 470,000 | 0 |
| 資産運用支出 | 0 | 0 | 0 |
| 支部支援金 | 0 | 1,200,000 | 1,200,000 |
| 当年度支出合計 | 31,430,471 | 43,070,000 | 11,639,529 |
| 次年度繰越金 | 16,170,221 | 3,520,321 | ▲12,649,900 |
| 支出合計 | 47,600,692 | 46,590,321 | ▲1,010,371 |

安心と安全を提供する警備会社



笑顔とまごころの警備で地域社会に貢献しています!
日大出身者が多数ご活躍しています!



SMILE&SECURITY

株式会社 トスネット

代表取締役会長 佐藤 康廣(昭和43年卒)

【事業内容】警備事業

(施設警備/交通誘導警備/雑踏警備/イベント警備/列車見張警備/防犯機材の販売、設置)

【本社】〒983-0045 宮城県仙台市宮城野区宮城野一丁目10番1号

TEL (022) 299-5761 FAX (022) 299-5874

URL: http://WWW.tosnet.co.jp/

《グループ会社》

◆警備事業(16社)

- 株式会社トスネット北東北 (本社:盛岡市)
- 株式会社トスネット南東北 (本社:郡山市)
- 株式会社トスネット首都圏 (本社:江東区)
- 株式会社トスネット上信越 (本社:新潟市)
- 株式会社トスネット北陸 (本社:金沢市)
- 株式会社トスネット茨城 (本社:水戸市)
- 株式会社トスネット釜石 (本社:釜石市)
- 株式会社トスネット陸前高田 (本社:陸前高田市)
- 株式会社トスネット相馬 (本社:相馬市)
- 株式会社トスネット琉球 (本社:那覇市)
- 株式会社大盛警備保障 (本社:盛岡市)
- 株式会社三洋警備保障 (本社:世田谷区)
- アサヒガード株式会社 (本社:郡山市)
- 株式会社日本保安 (本社:千葉市)
- 株式会社エイコー (本社:横須賀市)
- 株式会社アーバン警備保障 (本社:札幌市)

◆ビルメンテナンス事業・人材派遣事業(1社)

- 株式会社ビルキャスト (本社:仙台市)

◆電源供給事業(1社)

- ICCインターナショナル株式会社 (本社:札幌市)

◆メーリングサービス事業(1社)

- 株式会社メーリングジャパン (本社:仙台市)



◆警備事業



◆電源供給事業



◆メーリングサービス事業

幹部候補 社員募集中

日本大学創立130周年記念 事業募金

—— 思いは一つ「日大」 ——

日本大学は、2019年10月4日に創立130周年を迎えます。この大きな契機に向けて、教育理念・目的である「自主創造」を堅持しながら、教育も研究もスポーツも輝く「教育力日本一」を目指し、今後10年をかけて、小学校から大学までの一貫教育を含む教学環境の充実に向けた、様々な事業を展開してまいります。全学挙げての事業を実施するためには、盤石な財政基盤の構築が必要であり、これを支えるために、関係各位の方々に、広く資金を募らせていただきたく、「日本大学創立130周年記念事業募金」をお願いする次第です。経済状況の厳しい折から誠に恐縮ではありますが、ぜひ本学の取り組みにご賛同いただき、皆様方の任意のご芳志により、特段のご支援とご協力を賜りますよう切にお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】

▶ **日本大学創立130周年記念事業募金オフィス**
〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24
電話 03-5275-8348
URL <https://130th-bokin.nihon-u.ac.jp/>

役員紹介

| | |
|-------------|--|
| 会長 | 廣田健史 |
| 副会長 | 有吉 眞 柴田幸彦 鳥飼廣志 浅野みゆき 菊池智洋 |
| 幹事長 | 上村英生 |
| 副幹事長 | 松川聖業 木村洋一郎 庄司芳香 |
| 常任顧問 | 今村忠雄 竹井哲也 中村克夫 |
| 特別顧問 | 杉本 稔 |
| 常任幹事 | 宇藤 潔 川上俊明 平岩幸男 山田正博 岸 伸光 野村邦夫 柴田秀一 野村吉太郎 伊藤修一 石崎和文 中村光宏 清水恵介 清家愛 笹川拓 川松真一郎 小松崎恵介 生方朋子 橋本純一 |
| 監査 | 坂井 愛 水町栄治 |

拝啓
お元気で
すか？

法学部校友
近況報告コーナー

❖ 村岡敬明さん
平成23年 政治経済学科卒業

朝日新聞のクラウドファンディングで「沖縄復帰45年、祖国復帰運動の歴史的記録を後世に伝えたい!」に挑戦しています。また、九州大学大学院博士後期課程に昨年社会人入学しました。

❖ 阿部悟さん
昭和44年 政治経済学科卒業

教師の現役を退いてしばらく経ちましたが、現在は保護司として地域で活動しております。

❖ 濱田博幸さん
昭和40年 政治経済学科卒業

毎号楽しみにしています。3号館の改築完成が待ち遠しいです。旧3号館には多くの思い出があります。

※同封しているハガキにある「近況報告コーナー」に、あなたの近況をお寄せください。掲載する場合は、編集委員よりご連絡いたします。

3号館が

フットサルコートに

昨年3月に閉館した日本大学法学部3号館が取り壊され、フットサルコートになりました。主に体育の授業やサークルで使われています。また、コート外にはパラソルが付いたテーブルが置かれ、休み時間に昼食を取ったり、休憩を取ったりすることができます。

| | | | |
|---|---|--|---|
| <p style="text-align: center;">山崎正昭</p> <p style="text-align: center;">(昭和四十年 政治経済学科卒) 〒100-8962 東京都千代田区永田町二二一 参議院議員会館三〇号室 電話(〇三)六五〇一三二〇 電話(〇三)六五〇一三二〇</p> | <p style="text-align: center;">廣田健史</p> <p style="text-align: center;">(昭和四十六年 経営法学科卒) 〒101-8375 千代田区三崎町二二一 電話(〇三)六六一九二七四 FAX(〇三)三三三三五六七</p> | <p style="text-align: center;">柴田幸彦</p> <p style="text-align: center;">(昭和四十九年 管理行政学科卒) 〒989-6143 宮城県大崎市古川中里四一三二 FAX(〇一三)二四一四一四四 http://www.tecn-ocash.jp</p> | <p style="text-align: center;">松川聖業</p> <p style="text-align: center;">(平成六年 経営法学科卒) 〒369-0293 埼玉県深谷市普濟寺一六九〇 電話(〇四八)五八五二八〇五 FAX(〇四八)五八五二八八九</p> |
| <p style="text-align: center;">江渡聡徳</p> <p style="text-align: center;">衆議院議員 〒100-8962 東京都千代田区永田町二二一 衆議院第一議員会館一〇二号室 電話(〇三)三五〇八七〇九六 FAX(〇三)三五〇八七三九六</p> | <p style="text-align: center;">上村英生</p> <p style="text-align: center;">(平成六年 経営法学科卒) 〒101-8375 千代田区三崎町二二一 電話(〇三)六六一九二七四 FAX(〇三)三三三三五六七</p> | <p style="text-align: center;">浅野みゆき</p> <p style="text-align: center;">(昭和五十六年 法律学科卒) 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前四一九八 アロワラザ原宿二二五号 電話(〇三)三四〇四一六二〇三 FAX(〇三)三四〇四一六二〇五 http://enryuk.com/</p> | <p style="text-align: center;">坂井愛</p> <p style="text-align: center;">(平成十年 法律学科卒) 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南一〇一十二 フロンティア恵比寿六階 電話(〇三)五七二五三二八二五 FAX(〇三)五七二五三二八二六</p> |
| <p style="text-align: center;">堀澄也</p> <p style="text-align: center;">株式会社ヤクルト本社 相談役名誉会長</p> | <p style="text-align: center;">竹井哲也</p> <p style="text-align: center;">(昭和三十年 政治経済学科卒) 〒101-8375 東京都千代田区三崎町二二一 日本大学法学部内 電話(〇三)三三三三五六七</p> | <p style="text-align: center;">川上俊明</p> <p style="text-align: center;">(昭和四十七年 法律学科卒) 〒102-0074 東京都千代田区九段南三二二 森ビル七階 電話(〇三)三三九一八九七二 FAX(〇三)三三九一八八八三</p> | <p style="text-align: center;">笹川拓</p> <p style="text-align: center;">(平成十年 法律学科卒) 〒113-0033 東京都文京区本郷一七五一四 ベルスクエア本郷五階 電話(〇三)六八〇一五九〇四 FAX(〇三)六八〇一五九一一 http://www.bunkyo-pal.com</p> |
| <p style="text-align: center;">佐藤康廣</p> <p style="text-align: center;">株式会社トスネット 代表取締役会長</p> | <p style="text-align: center;">中村克夫</p> <p style="text-align: center;">(昭和四十九年 管理行政学科卒) 〒101-8375 千代田区三崎町二二一 電話(〇三)三三三三五六七 FAX(〇三)三三三三五六七 www.joshr.co.jp</p> | <p style="text-align: center;">野村吉太郎</p> <p style="text-align: center;">(昭和五十六年 法律学科卒) 〒107-0052 東京都港区赤坂八六一二七 スカイプラザ赤坂三二二号 電話(〇三)三四七五〇四一〇 FAX(〇三)三四七五〇四一一 http://www.nomura-law.com/</p> | <p style="text-align: center;">平岩幸男</p> <p style="text-align: center;">(昭和四十七年 法律学科卒) 〒162-0805 東京都新宿区矢来町二四一三三 勝ジャパン・サン貿易内 電話(〇三)五二七二八三三五 FAX(〇三)五二七二八三三六 携帯〇九〇一三五三三三三三三三三</p> |